

「半盲と半側空間無視が運転に与える影響」についての勉強会

○背景

2014年に道路交通法が改正され、同年より当院において脳血管障害の患者に対する運転支援を行っております。運転の可否判断には身体機能、高次脳機能障害、視力・視覚など、様々な要件があり、近年、半盲と半側空間無視が運転技能に与える影響について指摘されています。

今回、下記の予定で「半盲と半側空間無視が運転に与える影響」についての勉強会を開催したいと思います。

○勉強会

I. テーマ

1. 左半側空間無視者の自動車運転評価における特徴

軽度半側空間無視の患者における自動車運転評価の特徴について、当日は下記文献の要旨について説明します。

- ・ BIT で検出されない左半側空間無視患者の自動車運転評価における特徴と運転再開に影響する要因の検討（外川佑，作業療法，2018，Vo36，P599-607）
- ・ 右半球損傷患者の神経心理学的検査，ドライブシミュレータ，実車評価と運転可否判断の関係（外川佑，総合リハビリテーション，2019，Vo47，P373-379）

2. 右大脳半球患者における左空間に対する視覚性注意についての検討

①左半盲のみ，②左半盲＋左半側空間無視の患者では眼球運動（左空間に対する視覚性注意）がどのように異なるのか？について検討した文献です。当日は下記文献の要旨について説明します。

- ・ The influence of naturalistic, directionally non-specific motion on the spatial deployment of visual attention in right-hemispheric stroke (Cazzoli D, Neuropsychologia, 2016, P181-189)

II. 日時&場所

1. 日時

2019年5月22日（水） 18:00～19:00

2. 場所

南3階会議室